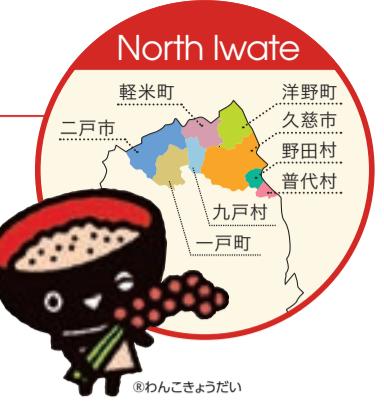


# 北いわて最前線



新しい三陸の  
創造を目指す。

来年開催! 地域の元気な姿を届けます  
**三陸防災復興  
プロジェクト2019**

特集2 身近なところに大自然  
**三陸ジオパークを学ぶ! 知る! 楽しむ!**

[県北広域トピックス 2018]  
ゆたかさ・つながり・ひと  
県民の生活を豊かにする。希望郷いわて

甘い果実が自慢!  
**フルーツの里カシオペア連邦大特集**  
[アンケート & 読者プレゼント]

地球の迫力を  
感じよう。

県北広域振興局

## せい 果実が自慢! 大特集 フルーツの里 カシオペア連邦

さくらんぼ収穫体験の様子(7月:一戸町)



カシオペア連邦はフルーツの里!

二戸地域は、降水量が少なく日中の寒暖差が大きいことから、甘くておいしい果物が四季を通じて実り、品質の優れたブランド果物が多いことが特徴です。

ブランド果物と産地のことを、もっと多くの方に「知ってもらう・買ってもらう・来てもらう」取組として、県では「カシオペア果物振興プロジェクト事業」を実施しています。

テレビやラジオでの产地情報やブランド果物の紹介、生産者組織である二戸地方観光農業推進協議会主催のさくらんぼやりんごの収穫体験ツアー開催など、産地一体となって取組を進めています。

いわてブランド果物きょうだい

「応援隊」として活躍中です!

二戸地域のブランド果物PRキャラクター「いわてブランド果物きょうだい」もフルーツの里を応援しています!



### 旬の果物カレンダー



7月 夏恋(かれん)

「佐藤錦」の中から、大粒で色が濃く、糖度の高い果実を厳選した「夏恋(かれん)」は県内でもトップブランドのさくらんぼだよ!



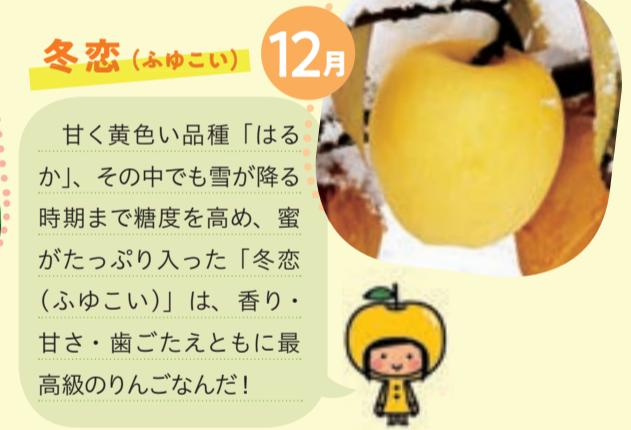
8月 カシオペアブルー

ブルーベリー品種「チャンドラー」から選別した直径24mm以上の大きい果実は「カシオペアブルー」というブランドで贈答用として出荷されているよ。



11月 カシオペア・クイーン・サンふじ

りんごの王様「ふじ」の中でも、特に糖度が高く蜜の入ったものを光センサーを使って厳選した「カシオペア・クイーン・サンふじ」は贈答用として非常に人気の高いりんごだよ。



12月 冬恋(ふゆこい)

甘く黄色い品種「はるか」、その中でも雪が降る時期まで糖度を高め、蜜がたっぷり入った「冬恋(ふゆこい)」は、香り・甘さ・歯ごたえとともに最高級のりんごなんだ!



9月  
10月 紅いわて



二戸地域振興センターでは、二戸地域でフルーツを購入できる産直や、摘み取り体験ができる場所を紹介しているドライブマップを作成しました。県のHPからダウンロードが可能です。ぜひ手にとってご覧ください。

携帯・スマートフォンからはこちら▶

フルーツ観光ドライブマップ 検索

### 読者プレゼント

アンケートにお答えいただいた方々の中から、抽選で合計10名様にプレゼント!!



#### 甘茶ドレッシング 3本セット

120ml×3本

金田一味園舎(二戸市)

九戸村産の甘茶とカシオペア連邦の名産フルーツを使用した、砂糖不使用、低オイル、塩分控えめのドレッシングです。お子様からお年寄りまで、美味しいいただけるライトな口当たりで、健康を気遣う方にもお勧めです。

「北いわて最前線」を最後までお読みいただき、ありがとうございます。  
今後より一層、誌面を充実させるため、読者の皆様の「声」をお聞かせください。

- 今回の記事で興味を持ったものは何ですか? (番号で回答、複数回答可)
  - 特集1 三陸防災復興プロジェクト2019
  - 特集2 三陸ジオパークを学ぶ! 知る! 楽しむ!
  - 県北広域トピックス2018
  - フルーツの里 カシオペア連邦
- 本紙への御意見・御要望や、今後掲載して欲しい内容がありましたら、御自由にお書きください。
- 県北広域振興局に対する御意見・御要望がありましたら、御自由にお書きください。

#### 応募方法

[送り先] はがき 〒028-8042 久慈市八日町1-1

県北広域振興局「北いわて最前線アンケート」係

FAX 0194-53-1720 電子メール BK0001@pref.iwate.jp

[締切] 平成30年10月19日(金) 消印有効

※回答は、右の二次元バーコードを読み込んで応募フォームからご応募ください。なお、はがき・FAXでもご応募いただけますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をお書きの上、お送りください。



スマートフォン用

特集1

# 来年開催! 地域の元気な姿を届けます 三陸防災復興プロジェクト 2019

東日本大震災津波から来年で8年目を迎えます。これまでの支援に対する感謝と、新しい三陸を創る決意を込めた「三陸防災復興プロジェクト2019」が開かれます。このイベントは、復興に全力を注ぐ私たちの姿を世界へ届ける絶好の機会です!

みんなで盛り上げて、三陸のパワーを発信しましょう。

三陸がつながる。  
日本各地や世界とつながる。  
ひとつになって更に前に進む。

プロジェクト会期  
2019.6/1(土)~8/7(水)



## 県北沿岸地域のこれまでの復興状況

復興の大きな柱は「安全の確保」「暮らしの再建」「なりわいの再生」の3本です。  
多くの人たちの支援を受けながら、取組を進めています。

Interview

「形の復興」の次は  
「心の復興」



野田村復興むらづくり推進課  
(応援職員)  
櫛原順一さん

野田村は息子2人が久慈工業高校出身であることから知人も多く、震災前から馴染みがありました。久慈市役所で土木技術として働いた経験を村の復興に少しでも役立てたいと思い、定年退職後、応援職員として採用になり、今年で4年目です。

私が整備に携わった十府ヶ浦公園は昨年7月に完成し、花火大会やマラソン大会、管内中学校の駅伝大会、パークゴルフ等の舞台として利活用されています。村民の皆さん公園を利用し、喜んでもらえることはとても嬉しいことです。様々な施設の整備が完了に向かい、官民協働の管理も始まっており、これからは「心の復興」が大事になると思っています。



地域住民の生命と財産を守る防潮堤が完成しました（洋野町）



新しい町の暮らしが始まっています（野田村）



復旧作業が完了し從来通り稚魚の育成が行われています（野田村）

津波によって人命が再び失われる事のないよう多重防災型のまちづくりを行っています。様々な自治体の協力を得て、災害に強い交通ネットワークを構築することで、住民の安全の確保に取り組んでいます。洋野町八木地区海岸では昨年12月に、長さ400m、高さ12mの防潮堤が完成しました。（このうち、水門・陸閘については、現在衛星回線を活用した「自動閉鎖システム」への移行を進めています。人の手を介さず自動で閉鎖するため、より安全で、冬季や夜間においても迅速かつ確実な閉鎖が可能になります。）

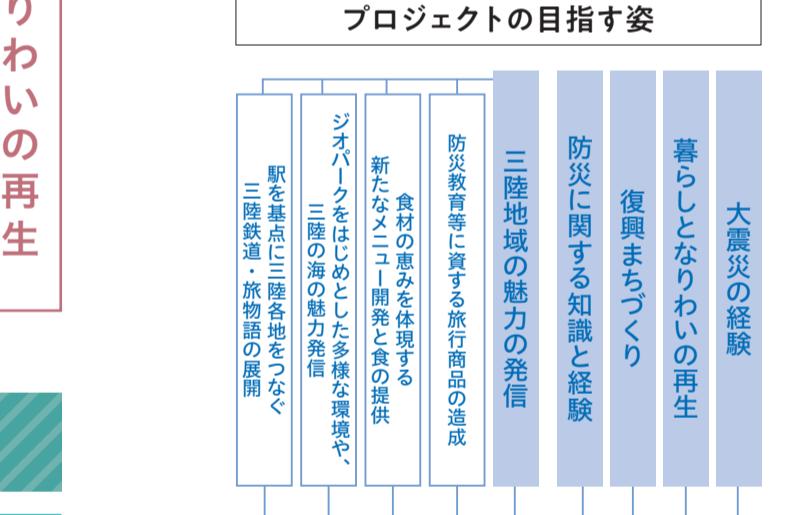
地域住民それぞれの住宅や仕事の確保をはじめ、医療・福祉・介護体制など、生命と心身の健康を守る仕組みづくり、さらには地域コミュニティ活動支援などによって、暮らしの再建を図る取組を進めています。久慈地域では、災害公営住宅の整備が完了するなど、暮らしにおけるハード面の復興は着実に進んでいます。さらに、被災者の心身の健康を守るために、野田村で相談会（こころの健康相談センター）を実施しています。ソフト面の復興にも力を入れています。

生産者が意欲と希望を持って生産活動を行えるよう、地域産業の再生を図るとともに、地域経済の活性化と地域の特色を生かした商品の開発など、様々な取組を行っています。野田村の下安家サケマスふ化場は、全国有数のふ化施設です。しかし、東日本大震災津波からの復旧に取り組む中、平成28年台風第10号により、再び壊滅的な被害を受けました。その後早急に復旧が進められ、平成29年度の放流実績は4,690万尾と順調に回復しています。水産業は地域を支える基幹産業であることが、今後は安定した漁獲量が期待されます。

### 安全の確保

暮らしの再建

### なりわいの再生



沿岸13市町村を舞台に  
様々なイベントを予定

- 震災の風化防止
- 国内外の防災力向上への貢献
- 復興の今に対する関心や支援気運の高まり
- 「再び訪れたい」「再び味わいたい」三陸の形成



出演者と来場者で合唱を行い、心がひとつになった

「三陸防災復興プロジェクト2019」が、来年6月1日（土）から8月7日（水）までの68日間にわたり、沿岸13市町村を会場に開催されます。

東日本大震災津波から来年で8年目を迎えます。私たちが多くの人たちに助けられながら、安全な町づくりや交通網の整備など、復興へ向けた取組を進めてきました。その取組を通じて、人と人、地域と地域の絆が生まれ、それが三陸の大きな財産となっています。

このイベントは、これまでの温かい支援に対しても「ありがとうございます」といえます。そして、国内持ちを伝える場です。そして、国内外と三陸の交流をひろげ、これから三陸をもっと元気にしていくきっかけとなります。

このイベントは、これまでの温かい支援に対しても「ありがとうございます」といえます。そして、国内

また、来年は、3月に三陸鉄道による久慈・盛間の一貫運行のスタート、9月にはラグビーワールドカップ2019が開催され、本年8月に完成した釜石鶴住復興スタジアムで試合が行われるなど、まさに国内外から注目が集まる絶好的の機会です。このプロジェクトを通して、日々のプロジェクトを通じて、日々

完成した釜石鶴住復興スタジアムで試合が行われるなど、まさに国内外から注目が集まる絶好的の機会です。このプロジェクトを通して、日々

の市町村や、国、関係団体が連携して取り組むもの。オール岩手で三陸の魅力を伝えたい」と述べました。プロジェクトの詳しい内容は11月頃に決定しますが、沿岸13市町村を

## プロジェクト会期中は様々なイベントを開催予定!

### 祭り

三陸地域は地域色豊かな伝統芸能が多数伝承されています。様々なお祭りが集結したイベントを開催します。

### 観光

特徴的な海岸線が続く三陸海岸は、日本最大のジオパーク「三陸ジオパーク」にも認定されています。ドライブはもちろん、観光やアクティビティも体験できます。

### 三陸鉄道

三陸海岸を北から南までつなぐ三陸鉄道は、全長163kmの「リアス線」として、2019年3月に全線開通予定です。列車の旅を楽しむイベントを開催します。

### 音楽

復興支援を通じて、地元の住人と交流が生まれた、世界的有名な音楽家のコンサートを開催します。

### 防災復興シンポジウム

震災からの歩みと将来の備えを学ぶシンポジウムを開催し、三陸地域の復興の今を世界に発信します。

### その他の情報も発信中!

三陸防災復興プロジェクト2019に関する情報は公式ホームページやSNSなどで最新情報を発信中。また、「岩手県公式動画チャンネル」では、このプロジェクトのPR動画を公開しています。ロングバージョンの動画では達成告知と沿岸の各市町村長が一言ずつメッセージを寄せているのでぜひご覧ください。

HP

<https://sanriku2019.jp>

QR



f

@sanriku\_project.2019

t

@sanriku\_project

QR



身近なところに大自然

特集2

# 三陸ジオパークを学ぶ！知る！楽しむ！

## おすすめスポット

出かけてみませんか 北いわてエリアのジオサイト位置図・ジオ紹介

北いわてエリアのジオサイトの見どころやおすすめの観光スポットについて紹介します。 地球や大地を学びながら、その地域の魅力を楽しみましょう。



### 洋野町

① 種市海浜公園  
奇岩「窓岩」や白亜紀の「種市層カキ化石産地」種市層「ウニ増殖溝」を見ることができます。

② 大野海成段丘  
海拔180~300mの内陸部に東西10kmに広がっている丘陵地。かつては海の底でした。

### 久慈市

③ 久慈渓流  
三疊紀の海から大陸へプレートの移動、地殻変動による隆起など数々の痕跡を残している川です。

④ 久慈琥珀  
琥珀や恐竜化石が発見される白亜紀地層「琥珀 久慈層群」や「中長内遺跡」が見どころです。

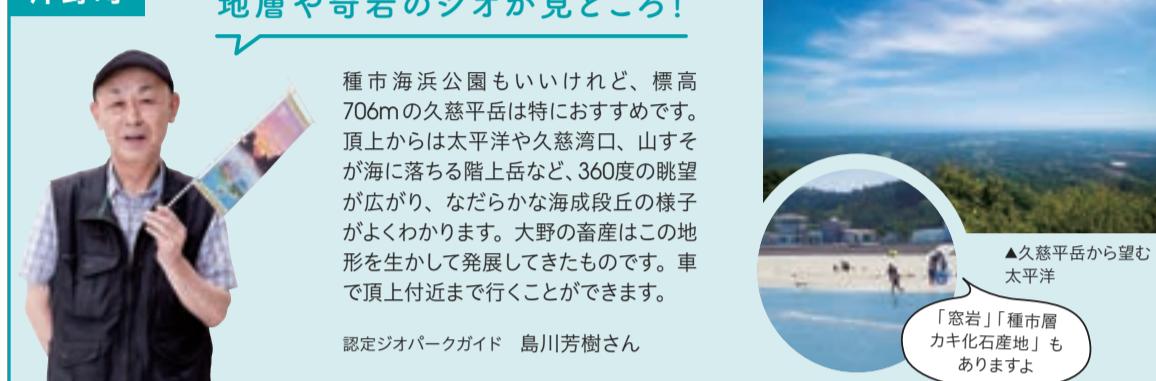
⑤ 小袖海岸  
約1億3千万年前の地球活動でできた岩場を、波が浸食し「夫婦岩」「つりがね洞」を形成しています。

⑥ 内間木洞  
総延長1,350mの巨大鍾乳洞です。川又川沿の「枕状溶岩」は、海底火山噴火を伝えています。

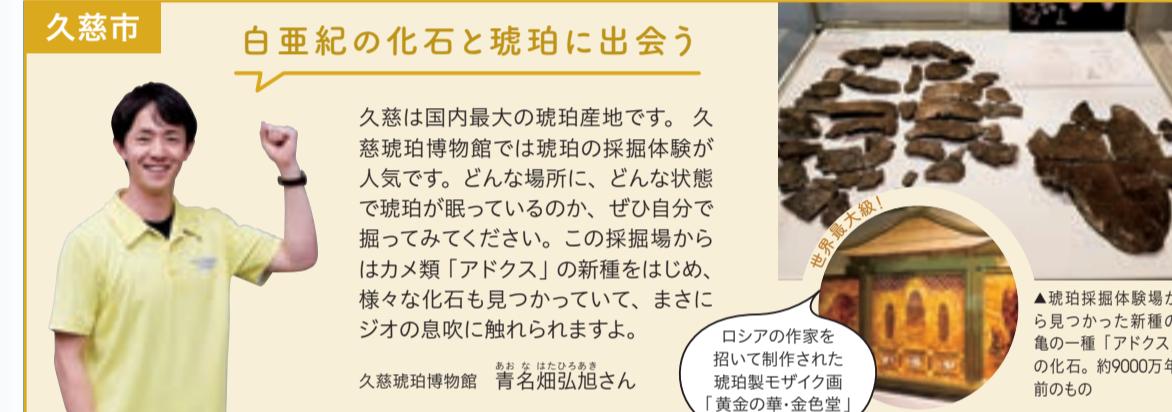


### 洋野町

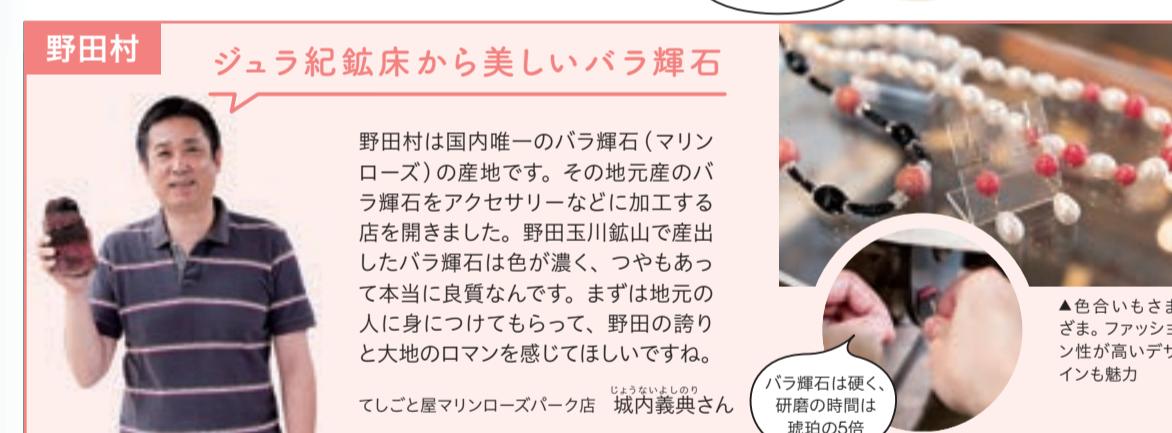
#### 地層や奇岩のジオが見どころ！



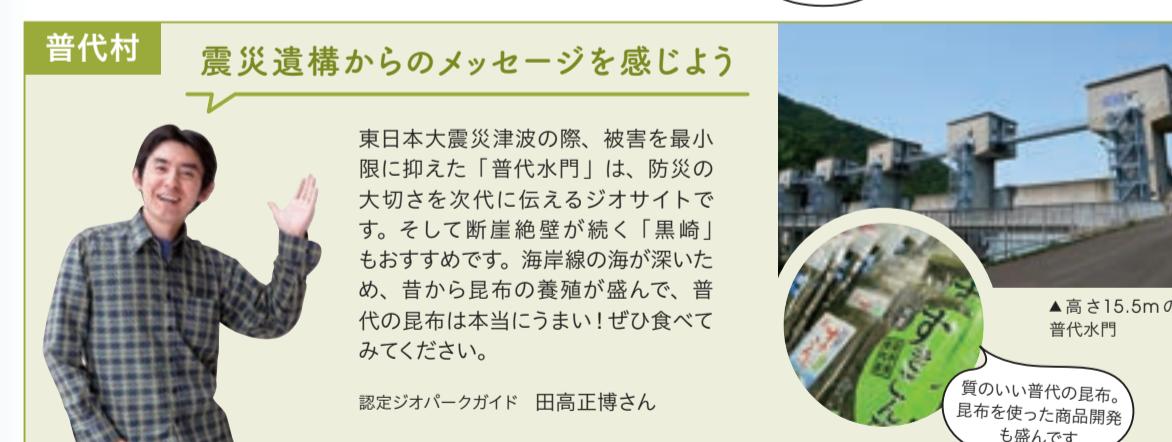
#### 白亜紀の化石と琥珀に出会う



#### 野田村 ジュラ紀鉱床から美しいバラ輝石



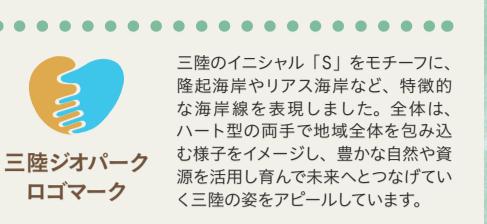
#### 普代村 震災遺構からのメッセージを感じよう



#### 潮風に吹かれて歩く、ダイナミックな散策ルート

森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレールです。リアス海岸ならではの海の景観をメインに、地元の文化や暮らしが感じながら歩けるルートが設定されています。北いわてには

「ジオパーク」とは、地球や大地を意味する「ジオ」と公園を意味する「パーク」を組み合わせた地球の営みがわかる公園のことです。現在日本には43地域あります。その中でも、日本で一番広いジオパーク、「三陸ジオパーク」の魅力について見てきましょう。



三陸のイニシャル「S」をモチーフに、隆起海岸やリアス海岸など、特徴的な海岸線を表現しました。全体は、ハート型の両手で地域全体を包み込む様子をイメージし、豊かな自然や資源を活用し育んで未来へつなげていく三陸の姿をアピールしています。

**防災についても  
学べる、日本一広い  
三陸ジオパーク**

三陸ジオパークは2013年に日本ジオパークに認定された青森県八戸市から宮城県気仙沼市まで沿岸部をエリアとする、日本一の広さを持つジオパークです。また、過去の大津波の跡などから防災についても学ぶことができる、世界でも貴重なジオパークでもあります。

三陸ジオパークには、地形や歴史、文化などの魅力を持つジオサイトが48カ所あります。私たちはたくさんの大さの宝物の中で暮らしており、普段何気なく見ている景色の中にも多くのジオサイトがあります。しかし、4年ごとに受け直さなければならぬ再認定審査で、それの魅力を分かりやすく伝えることができていないと、三陸ジオパークの魅力を十分に発信する取組を進める必要があります。

今後の取組について、「北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会」が再認定となりました。今後、ジオパークの魅力をより多く伝えたいことなどが大切です。皆さんと一緒にジオファンの輪を広げていきます。

三陸ジオパークの魅力を伝えには案内役となるガイドの存在が欠かせません。そこで認定ガイドを養成する講習会と、ガイド技術の向上を目指す研修会を開催しています。さらに「三陸ジオパーク検定」「ジオパーカスタンブラー」などを通じて、ジオファンの裾野を広げています。

## 2 ジオを伝える

三陸ジオパークの管理運営を行なう「三陸ジオパーク推進センター」(宮古市)には、久慈市立久慈中学校で、半崎地区の地層観察や久慈渓流などの見学と琥珀掘り体験を行うジオスクールを開催しました。生徒は、「三陸ジオパークに興味を持った」と話していました。

E S D 教育も行っています。ジオパークは、学校の授業にも活用されています。今年7月には、久慈市立久慈中学校で、半崎地区の地層観察や久慈渓流などの見学と琥珀掘り体験を行うジオスクールを開催しました。生徒は、「三陸ジオパークに興味を持った」と話していました。また、防災をテーマにしたジオスクールを開催しました。生徒は、「三陸ジオパークに興味を持った」と話していました。

## 1 ジオストーリーを作る

ジオサイトの価値や魅力をよりわかりやすく伝える「ジオストーリー」を地域の皆さんと一緒に作っていきます。



三陸ジオパークの管理運営を行なう「三陸ジオパーク推進センター」(宮古市)

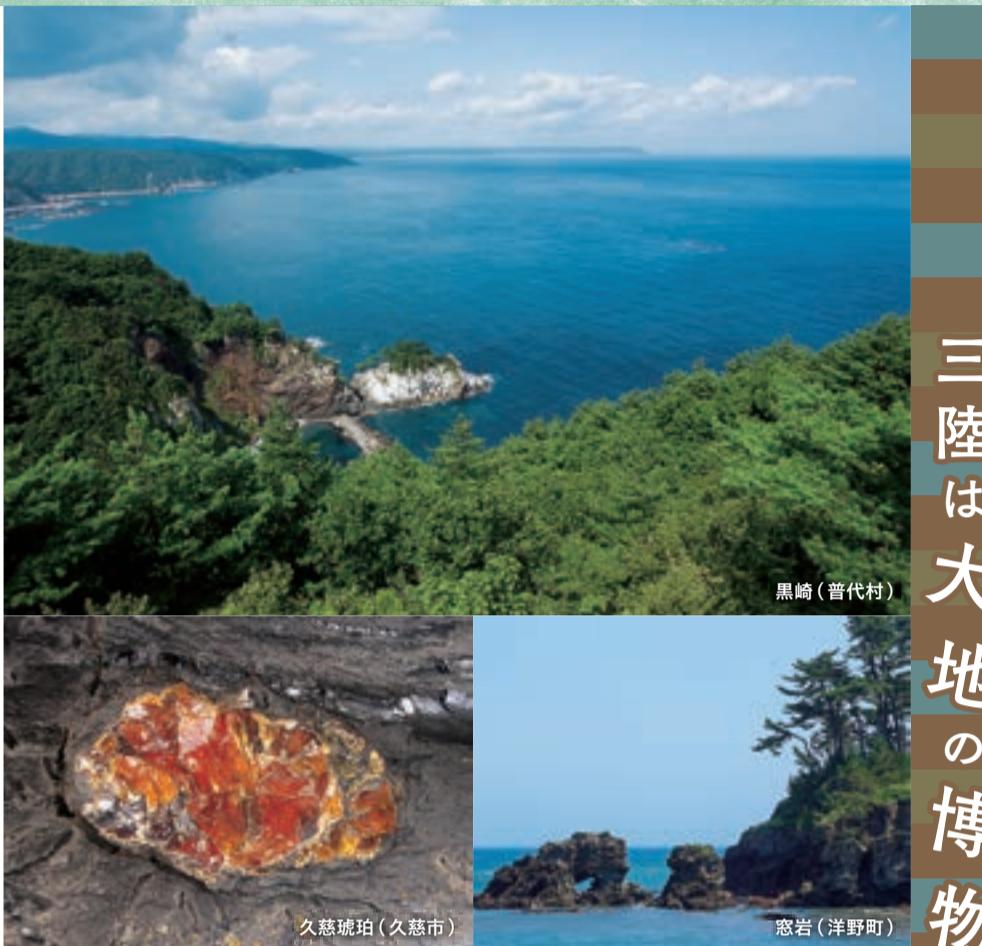
## 3 ジオパークを教育に取り入れる

ジオパークは学校の授業にも活用されています。今年7月には、久慈市立久慈中学校で、半崎地区の地層観察や久慈渓流などの見学と琥珀掘り体験を行うジオスクールを開催しました。生徒は、「三陸ジオパークに興味を持った」と話していました。

E S D 教育も行っています。ジオパークは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことです。地球上に存在する生物が未来まで存在するため、様々な課題を自らの問題として捉え、できることを考え実践していく学習にジオパークは活用されています。



その地に直接行くことで、ジオの迫力を体感することができます。



久慈琥珀(久慈市)

窓岩(洋野町)

三陸は大地の博物館

## 県北広域トピックス2018

ゆたかさ・つながり・ひと  
県民の生活を豊かにする。希望郷いわて

### 地域医療の次代を担う人材を育成します

久慈地域の人口10万人当たりの医師数は146・6人、二戸地域では145・5人であり、県全体の207・5人と比較して低い水準にあるなど、医師や看護師をはじめ医療従事者の不足が課題となっています。そこで、将来の地域の医療を担う人材を育成するため、久慈地域では平成22年から毎年、医師による出前講座と医療現場体験会を実施しています。



真剣に学ぶ中学生たち

今年は6月から7月にかけて、久慈地域の11の中学校で出前講座を開催しました。医療現場の第一線で働く医師が中学校に出向き、生徒たちに仕事のやりがいや医師を目指すきっかけなどを話しました。さらに、8月1日には参加を希望した生徒を対象に、県立久慈病院で医療現場体験を行いました。参加者は、医療機器を実際に操作するなど貴重な体験を通して、医療に携わる職業への理解を深めていました。



医療現場体験は毎年好評

### 農業と福祉の連携により相互の課題を解決します

久慈地域では、特産のほうれんそうや菌床いたけなどの生産現場で、労働力確保が課題となっています。久慈地方農業農村活性化推進協議会は、障がい者が農業の担い手となる「農福連携」の仕組みづくりを行い、課題解決に取り組んでいます。



農作業見学会で情報交換を行う



作業状況や作業における課題を把握

2020年に予定されている三陸沿岸道路の全線開通を見据え、久慈地域の4市町村（久慈市、洋野町、野田村、普代村）の玄関口となる「広域道の駅」が、久慈北IC周辺に整備される予定です。新鮮な海の幸をはじめとする地場産品の販売のほか、地元食材を使ったレストラン、観光案内所などの設置を計画しています。道路利用者のニーズに応えるとともに、地域の魅力をアピールします。広域道の駅は、道路利用者が久慈地域を通過するのではなく、立ち寄る場所にするための拠点施設です。三陸沿岸道路から、各市町村の道の駅や観光地へとの流れが生まれれば、大きな経済波及効果が期待でき、地域の活性化にもつながります。

県北地方では地域の特性を活かしながら、若者の地元定着、農林水産業や町おこしの活動など、魅力あるふるさとを創造していくため、「いわて県民計画」第3期アクションプランに基づく施策を進めています。

### 久慈地域の魅力を発信する「広域道の駅」を整備



広域道の駅イメージ図

お問い合わせ先  
久慈市総合政策部広域道の駅整備推進室  
TEL 0194-52-2115 (直通)



### 雑穀生産の機械化が進んでいます



改良した田植機によって作業時間の短縮と生産拡大を図る

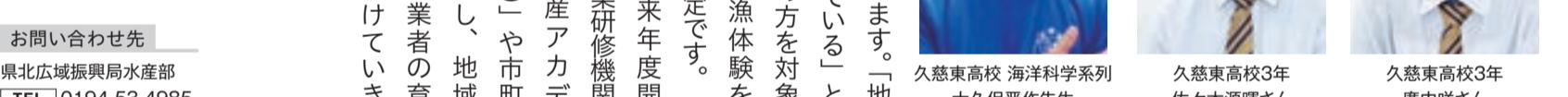
お問い合わせ先  
二戸農業改良普及センター  
TEL 0195-23-9208



既存の水稻育苗施設を活用した雑穀の集約的な育苗

お問い合わせ先  
県北広域振興局水産部  
TEL 0194-53-4985

### 担い手候補を発掘し地域漁業を盛り上げる



早朝から漁業体験が行われた

お問い合わせ先  
県北広域振興局水産部  
TEL 0194-53-4985



お問い合わせ先  
県北広域振興センター地域振興グループ  
TEL 0195-23-9201

### オール二戸で醸した地酒が世界規模の品評会で1位に



左から芦館弘幸岩手県商工労働観光部長、達増拓也岩手県知事、久慈浩介南部美人社長、藤原淳二戸市長

スパークリングの部と純米大吟醸の部でふたつのトロフィーを受賞

お問い合わせ先  
二戸地域振興センター地域振興グループ  
TEL 0195-23-9201

二戸地域は全国有数の雑穀産地であり、雑穀の安全・安心な生産やブランド化を進めてきました。国産雑穀の需要が高まる中、生産規模拡大に向け、一連の作業を機械化する取組を行っています。

6月初旬に行われた作業実演会では、水稻育苗施設を活用して育てた雑穀の苗を、野菜半自動移植機と改良した田植機の2種類を使って移植しました。参加した生産者は「従来の直播栽培では間引きや除草の負担が大きいが、機械化で楽になる」「畑の状態によっては苗がうまく植え付けられない」など意見を交わし、課題を検証しました。今後、機械移植技術の導入による一貫した機械化体系を確立し、現在の個別生産から地区内で協力分担する生産体制の構築を目指します。

漁業就業者の減少と高齢化が進む中、久慈地域では担い手を育てるため、平成27年度から高校生を対象に、地元の漁業を知る機会として漁業体験「北の海人養成塾」を実施してきました。今年度から対象を地域の一般の方にも広げ「明日の浜人応援事業」として実施しています。

7月には、水産関係への就職を希望する高校生2人が定置網漁業を体験しました。様々な種類の魚が入った網起こしを体験しながら、漁師さんと楽しく交流した2人は「漁業の醍醐味を知った」「将来の選択肢が増えた」と話します。「地元の漁業を見て体験することは、教育に大きく役立っている」と先生もこの取組の効果に期待しています。秋には一般の方を対象としたサケ漁体験を実施する予定です。

今後は、来年度開設予定の漁業研修機関「いわて水産アカデミー（仮称）」や市町村とも連携し、地域内の漁業就業者の育成に結びつけていきます。

二戸市の酒蔵、南部美人の特別純米酒が「IWCS（インターナショナルワインチャレンジ）2017」日本酒部門で世界一の称号「チャンピオン・サケ」を受賞、世界最大の市販酒品評会「SAKE COMPETITION 2018」のスペーカリング部門と純米大吟醸部門で最高位のGOLD1位を受賞しました。5代目蔵元の久慈浩介さんは、「IWCSの受賞酒は、二戸市産の岩手県オリジナル酒造好適米『ぎんおとめ』を使っています。この米がなかつたら、吟醸部門で最高位のGOLD1位を受賞しました。5代目蔵元の久慈浩介さんは、「IWCSの受賞酒は、二戸市産の岩手県オリジナル酒造好適米『ぎんおとめ』を使っています。この米がなかつたら、世界一になれなかつた。岩手県や二戸市の皆さんとともにいたいた賞です」と語ります。

南部美人では、ここ数年で、3人の杜氏を中心に切磋琢磨できる環境づくりや、それを支える設備の導入など改革を行ってきました。伝統と革新を融合しながら、異なる挑戦が続きます。